東京芝浦外語学院

TOKYO SHIBAURA INSTITUTE OF FOREIGN LANGUAGE

日本語教育課程と学習内容

進学につながる日本語を学ぶ

本校では、日本の大学・大学院・専門学校などへの進学を目指し、日本語の基礎から、進学後の学習に必要な力まで段階的に身に付けます。

「聞く」「読む」「話す（やり取り・発表）」「書く」を組み合わせた授業を通して、自分の考えを伝え、他者と協力しながら学ぶ力を育てます。

教育課程

課程	総授業時間数
進学2年課程	1,600時間
進学1年9か月課程	1,400時間
進学1年6か月課程	1,200時間
進学1年3か月課程	1,000時間

各課程では、日本語教育の参照枠に沿って、B2レベルを目標に学習を進めます。開始する学習段階は課程によって異なります。

段階に応じた学習

学習段階	身に付ける力
初級 A1～A2	身近な表現を理解し、生活や学校で必要なやり取りをする。経験や予定を簡単な文章で伝える。
中級 B1	文章や音声の要点を捉え、経験や考えを理由とともに説明する。
中上級 B2	社会的・学術的な内容を理解し、資料や根拠を用いて意見を述べ、レポートや発表にまとめる。

※各課程の開始段階に応じて学習します。B2段階の文章作成は、総合演習等の中で扱います。

授業科目と学習内容

文型・文法

文の形や意味、使い方を学び、場面に合った表現で話したり書いたりする力を身に付けます。

読解

身近な案内文から新聞記事・論説まで読み、必要な情報や要点、筆者の考えを理解する力を養います。

聴解

日常会話からニュース・講義まで聞き、内容の要点や話し手の意図を捉える力を養います。

表記

仮名・漢字・語彙を学び、生活や学習の場面で正しく読み書きし、使う力を身に付けます。

作文

身近な経験や自分の意見を、読み手に分かりやすく書く練習をします。構成を考え、助言を受けて書き直す力も養います。

会話（日本事情・タスクを含む）

日本の生活・社会・文化を題材に、会話、調査、話し合い、発表を行います。相手や目的に合わせて伝え、協力して課題に取り組む力を育てます。

総合演習

進学後の学習を見据え、講義のメモ、資料の整理・要約、引用を用いたレポート作成、発表・質疑応答に取り組みます。

課程別 科目別授業時間数

科目	2年	1年9か月	1年6か月	1年3か月
文型・文法	400	350	300	250
読解	120	110	100	90
聴解	280	260	240	220
表記	240	210	180	150
作文	60	50	40	30
会話（日本事情・タスクを含む）	480	400	320	240
総合演習	20	20	20	20
合計	1,600	1,400	1,200	1,000

使用教科書

『つなぐにほんご』『４技能でひろがる中級日本語カルテット』
『人と社会をつなぐ日本語 上級』を使用します。

生徒、教員及び職員の数

公表基準日：2026年10月１日現在

区分	人数
生徒（在籍者数）	154名
収容定員	160名
教員	計10名（本務等７名・非常勤３名）
職員	計３名